

国営緊急農地再編整備事業



■地区の概要

- 関係市町村：北海道 上川郡 愛別町
- 受益面積：1,253ha
- 受益戸数：153戸
- 主要作物：水稲、小麦、大豆、小豆、そば
飼料作物
野菜類（きゅうり、アスパラガス等）



愛別ブランドの米
「愛一杯」



愛別産の野菜
（きゅうり）

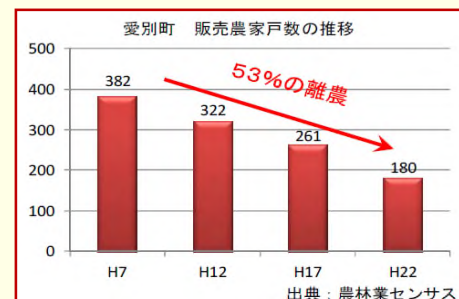
■地域農業の現状と課題

本地区は、北海道中央部の上川郡愛別町に位置し、石狩川及び愛別川流域の平地に広がっている水田地帯である。

地域の農業は、水稲（うるち米、もち米）を主体としながら、小麦や大豆等の畑作物、きゅうりやアスパラガス等の野菜類等を作付けしている。

地域では、農家の高齢化や農家戸数の減少が進行している一方で、離農跡地の継承による規模拡大も進んでいるため、地域農業の担い手による効率的な営農体系の構築に向けた機械の共同利用体制の強化による低コスト生産を目指している。

しかし、地区内のほ場は、小区画で排水不良も生じているため、機械作業の効率が悪く、現状の生産基盤のままでは機械の共同利用による生産コストの削減が実現できない状況となっている。さらに、地区内の農地の一部で耕作放棄地が発生しており、今後、耕作放棄地が増加するおそれがある。



30a～50aの小区画なほ場が地区内の9割を占め、機械作業が非効率



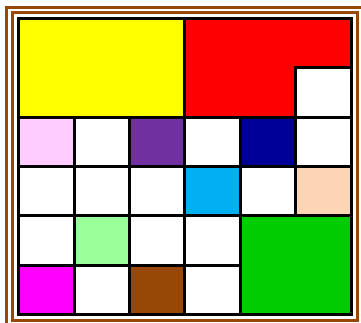
排水不良なほ場では機械がぬかるみ、作業時間が増加



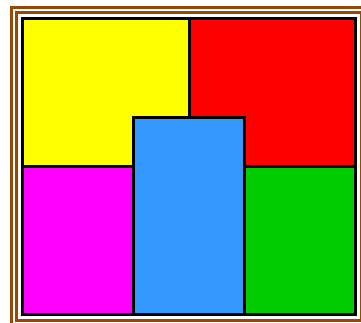
地区内では耕作放棄地が発生

水田フル活用愛別農業の実現に向けた取組方針 ～機械の広域共同利用体制の整備による低コスト生産の実現～

【現況】



【計画】



国営緊急農地再編整備事業
による整備内容

- ◇ほ場の大区画化 (0.3ha→2.2ha)
- ◇暗渠排水等による質的改良
- ◇換地による担い手への農地の集積・集団化 等

着色 機械利用組合(11組織)

白 戸別作業

現状では、機械利用組合(任意加入)または戸別での作業となっており、今後の経営規模拡大と労働力の減少に対応するため、効率的な営農体系の構築が課題。



5つの機械利用組合に再編

基幹作物(水稲、小麦、大豆等)の播種・収穫等に必要な機械を5つの機械利用組合(全担い手が加入)単位で共同利用することで、営農経費の4割削減を実現。

国営事業による基盤整備と機械利用組合の再編により
農作業の効率化及び低コスト生産を実現

小麦・大豆の生産拡大



食料自給率の向上に向けて、小麦や大豆などについて品質の向上と集荷量の安定化を目指す。

高収益作物の生産拡大



節減した労働時間を地域で振興している高収益作物(きゅうりやアスパラガスなど)の栽培管理に充当し、農業所得の向上を目指す。

経営の多角化に向けた新たな取り組み



育苗ハウスを活用したトマトの栽培などの新たな取り組みを行

高付加価値化への取組拡大



愛別産のもち米や豆を使った加工品の製造・販売を推進する。